										杯土	建築&アサイン専	コ子校 ンプハス	
科目名	3	卒業制	削作	F I	В								
科目名(英)	C	Graduatio	n wo	rks I	3								
単位数		4単位			時間数		60時間		担当者		高山 右	 俗明	
実施年度		2021年	度		実施時期	1	後期		担当者実務網	圣験	デザイン設計事 製品・施設等の企画		
対象学科•学年	1	フリエイテ	ィブ	デザ	イン学科 プロ	コダク	ウトデザイン 専	厚攻	2年	·			
授業概要	Ē	書を作成し 目で学ん ⁻	ン、解 できた	解決 第	を考え、アイ	デア ノて、	を表現する。 制作の実習	能力を を通し	を身につける こて、自ら問題	ことか	を発見し、必要な情報 が必要である。この授 見をし、最終的に作品	業では、他の科	
授業形式	講	義: ∠	Δ	演	習: 〇	実	習:	実技	支:		※ 主たる方法:O	その他:△	
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他					目標	Ę			
	0	0			卒業制作として	て自分	分考えたテーマ	に関	して、企画書を	作成	できる。		
学習目標	0	0			制作方法の調	査を	行い、模型や	3D E ÷	デリング、映像	表現	等の制作物を自力で作	成できる。	
(到達目標)	0	0			構想した作品の	の設	計(三面図等の)作成	:)、模型の制作	乍等か	「出来る。		
	0	0	0		以上の作業に	対し	てスケジュール	を立	て、日程を守っ	って実	施・完成できる。		
トラキスト・教材 参考図書													
2 322	回数					百日	- 内突						
			-2%-	1		只口	114			授業:			
	2	後期スケジュールの確認 授業外の生活時間においてもテーマを考えること 第一回発表までには遅くとも制作開始できるよう 詳細内容を確定する。											
	_										に入れる者は、制作作業を		
	3	中間発表 例:概略			回)に向けた作 戈	₹(各自スケジコ	∟ — ル	<i>•</i>)	スケシ	スケジュールに応じた作業 ジュールに遅れが出た場合 、遅れを取り戻す。		
	5	中間発表	表(質	ž—[ē		E業(各白スケジー	— Л.	·)				
	6	例:部品				~ · ·		_ ,,			ジュールに遅れが出た場合、遅れを取り戻す。 	iは、授業外の時間を	
	7				回)に向けた作	業(各自スケジュ	∟ール	•)		スケジュールに応じた作業 ジュールに遅れが出た場合		
	8	例:詳細	凶们	火、	調 登						、遅れを取り戻す。		
	9	中間発表	長(第	— [到) ————————————————————————————————————					級友は購入	の作品にも興味を持ち協力 が必要な材料を申請する。]すること。	
	10	講評、ス	ケジ	シュー	・ル修正(企画	i書修	逐正)				に着手し、次回発表では完		
	11 12	中間発表例:部品	表(第 ₁•素:	第二回 材発	回)に向けた作 注	業(各自スケジコ	∟−ル	•)	スケシ	スケジュールに応じた作業 ジュールに遅れが出た場合 、遅れを取り戻す。		
	13	中間発表	表(第	3 —[業(各自スケジュ	∟ール	<i>,</i>)		スケジュールに応じた作業		
	14	例:部品	··素	材加	工開始						ジュールに遅れが出た場合 、遅れを取り戻す。	は、授業外の時間を	
授業計画	15	中間発	長(第		回)に向けた作	業(各自スケジュ	-ル	·)		スケジュールに応じた作業 ジュールに遅れが出た場合		
	16	例:部品	*素	材加	工、仕上げ・፯	塗装	下塗り 				、遅れを取り戻す。		
	17				回)に向けた作	業(各自スケジコ	∟ール	,)		スケジュールに応じた作業 ジュールに遅れが出た場合		
	18	例:塗装	元「	●組	\overline{n}_{ζ}					使い、	、遅れを取り戻す。		
		中間発			1)					完成	の作品にも興味を持ち協力 までのスケジュールを確認		
	20	解決案詞	评価							スケシ	ジュールを立て直す。 		
	21 22	最終発表例:模型			た作業(各自)	スケ	ジュール)			スケシ	スケジュールに応じた作業 ジュールに遅れが出た場合 、遅れを取り戻す。		
	23	最終発 例:模型	表に 完成	向け; は、プ	た作業(各自)	スケ 討、	ジュール) パネル検討			スケシ	スケジュールに応じた作業 ジュールに遅れが出た場合 、遅れを取り戻す。		
										,~ · ·	~~~~~		

麻生建築&デザイン専門学校 シラバス

	25		表に向けた作業(各自スケジュール) 各自スケジュールに応じた作業を行う。 スケジュールに遅れが出た場合は、授業外の時間を使い、遅れを取り戻す。											
	26	例:プレゼン資料作成、パ 	ネル作業											
	27	最終発表に向けた作業(名		ール)				^{拭させ、} わかりやすい						
	28	例:プレゼン資料完成、パ	ゼン資料完成、パネル完成 発表を行う準備を行う。 告会、模型・パネル・最終企画書提出 発表会までに模型・パネルを完成させ、わかりやす 平価 発表を行う。											
	29	最終報告会、模型・パネル	レ・最終企画書	書提出			型・パネルを完成	 なさせ、わかりやすい						
	30	最終案評価	経評価											
		以上を下記の観点・割合 誤価基準は、S(90点以上		以上)•C(60;	点以上)・D(59	点以下)とす	る。							
			_ ===±±n	6045++4K	1年4十十十十	化本 本學	7.0.114	ᆕᄱᆇᆘᄉ						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合						
		課題提出	0	0				60%						
評価方法		発表·作品	0	0				40%						
履修上の注意		5週を3期に分けて作業を かり行い、15週で完成させる			課題提出と、	発表がありま	す。スケジュ	ール管理をしっ						

科目名	5	就職多	巨彩	ÿⅡB									
科目名(英)													
単位数		1 単	Ú		時間	間数	15	時間	担当者	Ť	各	クラス担任	
実施年度		2021	年度	Ę	実施	時期	í	 发期	担当者実務	経験			
対象学科・学年	5	フリエイテ	ィブ	デザイン	√学科 プロ	ロダクトテ	・ ザイン専攻	2年					
授業概要					楚知識を値 品集作成や			ど、社会人にな	なる上でのス	キルを身	につい	ける。	
授業形式	講	義: (C	演習:		実習:	美		※ 主	たる方法	:0	その他:△	
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他			11.	目標	<u> </u>				
		0		就	職活動に	おける企	業研究が行	うことができる)				
学習目標		0		自	己分析を行	行うことか	「できる						
(到達目標)		0		作	品集を作り	ずし就職:	活動ができる	5					
テキスト・教材 参考図書	京	北職ガイ ト	ヾブッ	ク 社	上会人研修	夢ノート							
	回数				授業	項目·内容	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~			授業外	学修	旨示	
		就職活動											
	0	就職の就職活動	動の	状況報	<u></u>								
		就職の 就職活動											
	3	就職の	求人'	情報の何	云達								
	4	就職活動 就職の家		情報の何	云達								
	5	就職活動就職の変	動の 求人	状況報行 情報の作	告 云達								
		就職活動就職の変											
授業計画	7	就職活動就職の変	動の	状況報行 情報の何	吉 云達								
		就職活動就職の変											
	9												
	10												
	11												
	12												
	13												
	14												
	15												
			E =	- Wh (^)		lili isi i	の中南ナ か	<u> </u>	<u> </u>	TT\-	State Bloom -	+ 7	
	(1)	党講 態原	隻∙苨	(2)			1	合的に判断し		_			
評価方法					言	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その	他	評価割	合
				·意欲			0			1		30%	
		課是	夏の打	提出			0					70%	
履修上の注意	6	0%出席	を単	位付与	条件とする	5							

科目名	(CATI	ΔΠ	E	₹											
科目名(英)		II AITA							_							
単位数		2単	位		時間	間数		30時間		担当者		稲吉	貴博 ————————————————————————————————————			
実施年度		2021	年度		実施	時期		後期		担当者実務網	圣験					
対象学科•学年	1	フリエイラ	ティブ	デザ	イン学科	プロダク	ナトデ	゙゙ザイン専 ^ฐ	女 2	2年						
授業概要										用いた強度な ても学習し習	検討方法につ ではある。	Oいて学ぶ。				
授業形式	講	義:	Δ	演 [:]	習: () 実	習:	:	実技	支:	※ 主	たる方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運動技能 技能		その他				·		目標						
学習目標		0 0)		CATIA	でモデルの	の組	み合わせた	がで	きる						
(到達目標)		0 0)		CAE解析	fを用い <i>た</i>	に強力	度検討がて	きを	3						
		0 0)		CATIA i	忍定資格	対策	を通して、	DM	U技術を身に	こつけることだ	バできる				
テキスト・教材 参考図書						TAテキス TA基本教		用データ								
	回数				拉	受業項目	• 内容	<u> </u>				授業外学修	指示			
	1	ナレッジ	ティクス ティクス ティクス ティクス ティクス ティクス アイド アイブ													
	2		を関する													
	\vdash					ン作成の基	基本手	手順について	(学	習	復習の確認さる習	-ストを実施し、 を配付する	. 採点して返却する			
	3	キネマラ	MU・キネマティクス 予習プリントを配付する ネマティックシミュレーション作成の基本手順について学習 復習の確認テストを実施し、採点して返却する													
	4					ン ジョイン	ノトの	種類につい	て復	图	復習の確認力	ストを実施し、	採点して返却する			
	5	演習問題	題キ	ネマラ	ティクス①						演習問題の間	間違えた箇所を	もう一度作成し直			
	6	演習問題	題キ	ネマラ	ティクス②							間違えた箇所を	もう一度作成し直			
1·20·2₩ 글Linn	7	演習問題	題キ	ネマラ	ティクス③						演習問題の間	間違えた箇所を	きもう一度作成し直			
授業計画	8	認定試	験対第	₹ C	ATIA認定]試験対策	演習	問題実施			予習プリントを		採点して返却する			
	9	認定試	験対第	₹ C	ATIA認定	"試験対策	演習	問題説明			予習プリントを	を配付する	採点して返却する			
	10	中間試験	—— 験								中間テストの	解答解説を行	う			
	\vdash	認定試験		<u> </u>	·ΔΤΙΔ韧壳	· 計略分等	油型	 '問題実施			予習プリントを					
	H										復習の確認で 予習プリントを		採点して返却する			
	<u> </u>	認定試						問題説明				ストを実施し、	採点して返却する			
	13	認定試験	験対第	€ C	CATIA認定	注試験対策	演習	'問題実施			復習の確認力	ストを実施し、	採点して返却する			
	14	認定試	験対領	₹ C	ATIA認定	試験対策	演習	問題説明				ストを実施し、	採点して返却する			
	15	期末試	験									解答、解説を行 fを解けるようし				
	(3)5	15 期末試験 開流するい所含、解説を行う。 (1)授業の中で確認テストを実施する。(10回程度) (2)演習課題を実施する。(15問程度) (3)定期試験(実技)を中間、期末で各1回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。														
評価方法						言語情	報	知的技能	Ė	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
		試験(中間	、期	末)			0					60%			
		確	認テ	スト		0							20%			
		污	官習寅	果題				0					20%			
履修上の注意	ŧ	受業後 <i>σ</i>	振り	返り	を必ず行	いわから	ない	所を早急に	こ解	· 決できるよう	取り組むこと					

科目名	プロダクトデザイン概論 B Introduction to Product design B													
科目名(英)	In	troducti	on to	Pro	duct design E	3								
単位数		2単位	立		時間数		30時間		担当者			高山 裕		
実施年度		2021年	度		実施時期		後期		担当者実務網	経験 製成		イン設計事 と等の企画・	務所にて、 デザインに従事	
対象学科•学年	ク	リエイテ	ィブラ	řザ.	イン学科 プロ	ダクトラ	デザイン専	攻	2年					
授業概要	あ	る。中で	もプロ	ダク		景(概念。	と歴史)、社	会と	プロダクトデサ				範な知識が必要で 関わる技術知識	
授業形式	講	轰: (О	演	習:	実習:		実担	支:	* :	主たる	方法∶○	その他:△	
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他			L		目標	Į				
	0				プロダクトデザイン	ンとは何だ	いとその歴史	を学	び、製品と人間。	との関係を説	明する	ことができる。		
学習目標	0				現在の社会が抱え	える大きな	は問題と解決	策と	してのデザインロ	こついて理解	し、説明	月ができる。		
(到達目標)					商品開発に関わる	る技術を	学び、代表的	な技	術・素材等の説	明ができ、開	発に応	用することが	できる。	
					プロダクトデザイン	ン検定2約	及合格レベル	の知	識を身に付ける	00				
テキスト・教材 参考図書	JI	DA編『	゚プロク	ダク	トデザイン 商	品開発	に関わるす	ナベ	ての人へ』					
	回数													
	1	1 導入 プロダクトデザイン検定説明、テキストの概要 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと												
	2	プルトの出来なかった部分を復習しておくこと												
	_				ダクトデザイン					プリントの出	来なか	った部分を復	習しておくこと	
	_				・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7						を事前に読ん った部分を復	,でおくこと 習しておくこと	
	-					^						を事前に読んった部分を復	,でおくこと 習しておくこと	
	-	第4章 ラ								教科書の該	当範囲	を事前に読ん		
	6	第5章 二	レーザ	調査	のための手法					教科書の該	当範囲	を事前に読ん		
授業計画	7	第6章 =	シセス	プト作	成のための手法	法(~36	発想法まで) /]	トテスト	教科書の該	当範囲	を事前に読ん	でおくこと	
	8	第7章 視	覚化の	ため	の手法 (37ダイ)	アグラム~	~41コンピュ-	ータり	卫 理)	教科書の該	当範囲	を事前に読ん		
	9	第7章 祷	覚化の	のた	めの手法 (42コ	ンピュー	タ処理~47:	カラ-	—)			った部分を復 を事前に読ん	習しておくこと でおくこと	
	10	第8章 ラ	デザイン	ン評	価と科学的研究	,				プリントの出	来なか		習しておくこと	
	11	第9章 🔻	マーケー	ティン						プリントの出	来なか		習しておくこと	
	12	第10章	技術と	ニデサ	デイン (61概要・	~66プラ	スチックの	成型	!と加工)	プリントの出	来なか		習しておくこと	
	13	第10章	技術と	゠ヂ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	 デイン (67金属・	~71 3D	プリンタ)	小 テ	 ·スト	プリントの出	来なか	った部分を復	習しておくこと	
		後期復習										<u>を事前に読ん</u> 容を復習する		
		重要事項										よ、復習し習ん		
						rtr===			フ /a) ウ #ロ:				.,	
	以上	を下記(の観点	点・害	とに小テスト(そ 引合で評価する 30点以上)・A(o.							る。	
=a; /-r - 1 - \-1					言語		知的技能	能	運動技能	態度•意	欲	その他	評価割合	
評価方法		定期試験 ◎ 80%												
		/]	トテス	-		0							20%	
履修上の注意					こと。授業では、		のすべての	の項	目を解説で	きないが、	授業單	で囲のペー	ジ内の用語解説	

科目名	-		CAD	π D			P17-	.廷采&)リイノ守	11112 27. 12					
科目名(英)		DCAD II		п р										
単位数	3	4単位	_	時間数	60時間	抽	 当者	稲吉:						
実施年度		2021年		実施時期	後期		実務経験	118 🔾	具 1寸					
				7	<u>を物</u> ダクトデザイン専		大切性軟							
対象学科・学年	2	/リエイテ	イノナサ	イン子科 ノロ	ダクトナザイノ等	攻 2年								
授業概要					TIA技術を用いて 多数用いて設計			管理意識の育成も行う	5.					
授業形式	講	_		習: 0	実習:	実技:		※ 主たる方法:O	その他:△					
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲		 ンテーションの基	+++ 4= 4ミッ	目標	-+>7						
学習目標	0	0						-なる こ納品(提出)できる						
子百日標 (到達目標)		0						技術が習得できる						
							-							
テキスト・教材 参考図書	C													
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示 チーム課題設定後にチームスケジュールの確												
	1	チーム課題設定後にチームスケジュールの確 イントロダクション(導入)、チーム作成 認など打ち合わせを行うこと。												
	2	イントロダクション(導入)、チーム作成 認など打ち合わせを行うこと。 チーム課題設定後にチームスケジュールの確												
	3	スケジュ-	ール・構想	・詳細設計の実施	施			設計・詳細設計のチー。 「の作成を行う。	ム共有を行い設計					
	4	スケジュ-	ール・構想	!詳細設計の実	施∙確認			設計・詳細設計のチー 夏の作成を行う。	ム共有を行い設計					
	5	スケジュ-	ール・3D=	Eデリング作成に	チームスケジュー	ルの管理	大・・	中・小スケジュールの作	成					
	6	スケジュ-	ール・3D=	Eデリング作成に	チームスケジュー	ルの管理・確	認	中・小スケジュールの作						
	7	チーム作	品作成・	チーム内情報共有	∮・チーム別進捗研	ඎ∙指導	り組							
	8	チーム作	品作成・	チーム内情報共有	す・チーム別進捗研	[認•指導	り組							
	9	チーム作	品作成・	チーム内情報共有	∮・チーム別進捗研	ឱ認•指導	り組	大ので進捗を確認し修正 む 大ので進捗を確認し修正						
	10	チーム作	品作成・	チーム内情報共有	与・チーム別進捗研	ඎ∙指導	り組							
	11	チーム作	品作成・元	チーム内情報共有	す・チーム別進捗研	ឱ認∙指導	り組							
	12	中間発表	ŧ				ム内	」死表後には修正点や記 」で共有し対策を行う。 注内で指示した課題につ						
	13	チーム作	品作成・	チーム内情報共有	∮・チーム別進捗研	ඎ∙指導		で指示した課題に で で 作内で指示した課題につ						
	14	チーム作	品作成・	チーム内情報共有	∮・チーム別進捗研	認∙指導		を内で指示した課題につ						
授業計画	15	チーム作	品作成・	チーム内情報共有	∮・チーム別進捗研	認∙指導		内で指示した課題につ						
	16	チーム作	品作成・	チーム内情報共有	∮・チーム別進捗研	ឱ認∙指導	12.*	ここの () 日かりに休成して ノ						

麻生建築&デザイン専門学校 シラバス

						•	
	17 チーム作品作成・チーム内情	請報共有・チー ⊿	ム別進捗確認・	指導	授業内で指示し	た課題につい	いて取り組む。
	18 中間発表				中間発表後に1 ム内で共有し対		題を洗い出しチー
	19 チーム作品作及び3次元デー	-タ出力・チー <i>L</i>	ℷ別進捗確認・	指導	授業内で指示し	した課題につし	て取り組む。
	20 チーム作品作及び3次元デー	-タ出力・チー <i>』</i>	△ 別進捗確認・	指導	授業内で指示し	した課題につし	へて取り組む。
	21 チーム作品作及び3次元デー		▲別進捗確認•:	 指導	授業内で指示し	た課題につい	へて取り組む。
	22 チーム作品作及び3次元デー	-タ出力・チーム	▲別進捗確認•:	 指導	授業内で指示し	た課題につい	へて取り組む。
	23 チーム作品作及び3次元デー		△別進捗確認・	指導	授業内で指示し	た課題につい	へて取り組む。
	24 中間発表				中間発表後に ム内で共有し対	- 12 - 1111	題を洗い出しチー
	25 チーム作品作成・修正データ	出力・プレゼン	′資料作成・チ−	-ム別指導	授業内で指示し	た課題につい	へて取り組む。
	26 チーム作品作成・修正データ	出力・プレゼン	資料作成・チー	-ム別指導	授業内で指示し	した課題につし	へて取り組む。
	27 チーム作品作成・修正データ	出力・プレゼン	資料作成・チー	-ム別指導	授業内で指示し	した課題につい	へて取り組む。
	28 チーム作品作成・修正データ	出力・プレゼン	資料作成・チー	-ム別指導	授業内で指示し	した課題につい	へて取り組む。
	29 チーム作品作成・修正データ	出力・プレゼン	資料作成・チー	-ム別指導	授業内で指示し	した課題につい	て取り組む。
	30 最終発表(図面データ, モデリ	Jングデータ, f	作品課題提出)		発表後、チー <i>ム</i> 提出	全体で作成し	たデータをまとめ
	実習課題(スケジュール, 図面 中間発表(3回)及び最終発表 成績評価基準は、S(90点以上	(1回)を行い	作品制作によ	さける過程も記		(未満)とする	0
		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
	課題評価		0				60%
評価方法	中間·最終発表	0					20%
	スケジュール管理		0				20%
履修上の注意	チーム内での情報共有及び	、スケジュール 	/管理を行い	作品制作に週	星れが出ないよ	う取り組んて	ざください。 -

科目名	1	幾械詞	殳 討	 	3									
科目名(英)	Ν	1echanic	al en	ginee	ering B									
単位数		2単位	<u>ታ</u>		時間数	τ .	30時間		担当者		工藤(金治		
実施年度		2021年	度		実施時	期	後期		担当者実務網	経験 設計事	務所にて機械	設計業務に従事		
対象学科・学年	5	フリエイテ	ィブラ	デザ	イン学科 プ	゚ロダクト	デザイン専	攻	 2年					
授業概要	<i>多</i> 言	そ点」であ	る設	計業	終を担うに	あたり、	今では必需	음	なったパソニ	コンを駆使し、	機械•鋼構造	、「モノづくりの出物の実践的設 でとを目標とす		
授業形式	講	義: (С	演習	当:	実習:		実	支 :	※ 主 <i>t</i> :		その他:△		
	言語情報	知的 運動 技能 技能	態度意欲	その他					目標	<u> </u>				
	0	0			用語·記号	を理解す	ることを [目標。	とする。					
学習目標	0	0			実務(設計図	面等)に	利用できる基	盤を	つくることがて	ごきる 。				
(到達目標)														
テキスト・教材 参考図書	2		设計區	図面(教官設計)	当き方」	「やさしい様	幾械	設計の考えブ	⁵・進め方」				
	回数				授業	項目·内]容				授業外学修	指示		
	1	機械設調	†と -	ものつ		設計のポ	パイント			左記に示す教科	書の範囲に	目を通しておくこと。		
	2	使用者	こやさ	きしい	機械設計					左記に示す教科	書の範囲に	を通しておくこと。		
	3	設計上の	の重り	点一	1. 環境に配	 慮				左記に示す教科	書の範囲に	目を通しておくこと。		
	4			2.	コストを考り	憲一確				学習した範囲によく見直してお		行なうので		
	5			3.	メンテナン	スを考慮					-	を通しておくこと。		
	6			4.	安全性を考	憲				左記に示す教科	書の範囲に	 を通しておくこと。		
	7	機械材料	料—1	1.金原	 禹材料					左記に示す教科	書の範囲に			
授業計画	8				跌金属材料	非金属	材料			左記に示す数科		 を通しておくこと。		
	9	機械加			設計と機械			<u> </u>				を通しておくこと。		
	_	加工成				//H 、 //F	1 10/10/2	•				・を通じておくこと。 		
						= 1 − → 1 /	<u> </u>			学習した範囲に				
					L方法一確	ジナスト	2)			よく見直してお	くこと。			
		図面と機										を通しておくこと。		
		機械要			斯 車							を通しておくこと。 直しする。よく理解で		
	14	後期復	習∙演	習						きていない箇所	を メモしておく。)		
	15	期末試験	険 対	対策						今期に学習した しする。	軋囲の中で 里	安争垻を再度、見但		
			末試験 対策											
評価方法					1	語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
肝ਘ刀法		定	期試	験		0	0					70%		
		確	認テス	スト		0	0					30%		
履修上の注意	12	复習すれ	ば、技	受業の	の理解がで	きる。又	て、極め細た	^	ノートを取っ	ていくこと。				

科目名	7	機械コ	C学	В										
科目名(英)	١	/lechanic	al engir	neering B										
単位数		2単位	<u>ታ</u>	時	間数	30	時間	担当者		工藤	金治			
実施年度		2021年	度	実施	時期	移		担当者実務	経験 設計	事務所にて機材	戒設計業務に従事			
対象学科·学年	1	フリエイテ	ィブデ	ザイン学科	プロダク	トデザ	イン専攻	2 年						
授業概要				て学習し、 を身につ		解析時(こ必要な	力学の基礎気	印識を身につ	けることを目	標とします。 流			
授業形式	講	義: () ;	寅習:	実習	3 :	実	技:	※ 主	たる方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能 技能	態度 意欲 その	D他	•		,	目標	E.					
	0	0		流体の性	性質について	て説明す	ることがて	ごきる						
学習目標	0	0						法則を説明する						
(到達目標)	0	0						法則を説明する						
	0	0		定理・法	は則を用い つ	て、必要	要な値を測	削定・導き出す	トことができる	3				
トラキスト・教材 参考図書	[図解 もの)創りの	ための	やさしい機材	械工学	,機械	設計技術者(のための基礎	楚知識				
	回数		授業項目·内容											
	1	流体の	授業項目・内容 授業外学修指示 流体の性質一密度・比重・圧力 左記に示す教科書の範囲に 目を通しておくこと。											
	2		流体の性質一密度・比重・圧力 左記に示す教科書の範囲に 目を通しておくこと。 体の静力学一パスカルの原理 左記に示す教科書の範囲に 目を通しておくこと。											
	3	13.011 1.												
	4	流休の	アルキメデスの原理 左記に示す教科書の範囲に 目を通しておくこと。 授業内容に係るテストを実施するので、復習しておく											
	5	<i>γ</i> ιι	アルキメデスの原理 左記に示す教科書の範囲に 目を通しておくこと。											
	6				/ 1. 一イの定理	I (1)					日を通しておくこと。 目を通しておくこと。			
	-				一イの定理									
授業計画	7			• • • •	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		=n = → l	0)		について、テスト	目を通しておくこと。 			
	8	日本し	T1 1+		リーの法則	」(惟	認ナスト	- 2)	よく見直して					
	9			(レイノズル							目を通しておくこと。 			
	10			(レイノズル	ン数)(2)						目を通しておくこと。			
	11	圧力の							左記に示す教	科書の範囲に	目を通しておくこと。			
	12	流速の	測定						左記に示す教	科書の範囲に	目を通しておくこと。			
	13	空気圧	システ	4							目を通しておくこと。			
	14	模擬試	験・自習	9 3					きていない箇	所を メモしておく				
	15	後期 試	験対策	・演習					今期に学習して	た範囲の中で 重	重要事項を再度、見直			
	(3){)定期試験(筆記)を実施する。※60点以上取得すること (2)授業の中に確認テストを2回実施する。)宿題・レポートを数回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 ,績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
評価方法		言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合												
		定	期試験		0		0				70%			
		確認テスト 〇 〇 30%												
	_													
履修上の注意				复習するこ 備が必要		つ理解に	こ繋がりる	ますので心が	けて下さい。					

科目名	-	プログ	ずク	トテ	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	実習	国 II B					
科目名(英)	Р	ractice	of P	roduc	t design II B	}						
単位数		6単	位		時間数		90時間		担当者		植田 郭	 養孝
実施年度		2021:	年度		実施時期	—— 男	前期		担当者実務	経験	デザイン設計事製品の企画・デサ	
対象学科・学年	5	フリエイ ・	ティブ	デザ	イン学科 プ	ロダ	 クトデザイン専	 厚攻	 2年		жи у шп / .	× 1210/C-7
授業概要	ع	:個性に	あった	た発想	想能力を伸は	ĬŪ,	自主的にデザ	・イン	是案ができる	事を	中で、各自それぞれ 目標とする。また各自 きるようにする。	
授業形式	講	義:	Δ	演	習: 0	実	習:	実担	支 :		※ 主たる方法:〇	その他:△
	言語情報	知的 運動技能 技能	態度 意欲		細暦ニーマナ	TER 427	1 = 71-31	-+-	目標		インコンセプト立案ができ	
₩ 20 0 1 #		0									1 ンコンセフト立条かでき	
学習目標 (到達目標)		0 0)								表現や図解表現ができ	
		0									Eがなされている。	
		0 0)		スケッチ表現	したぇ	造形を、三面図	や立体	*モデルで表 ³	見する		
テキスト・教材 参考図書	ý	必要に応	ぶじて	オリシ	ジナルテキス	トを酉	记布。(参考区]書: -	匚業デザイン	'全集	第2巻/第3巻)	
	回数					項目	•内容				授業外学修	 指示
	1	輸送機器	景/公共	物テ-	マ説明 / テー	マのi	周査分析及びコン	'セプト	—————— 検討			
	2	輸送機器	景/公共	物テ-	マ説明 / テー	マのi	周査分析及びコン	'セプト	—————— 検討			
	3	輸送機器	景/公共	物テ-	マ説明 / テー	マのi	周査分析及びコン	セプト	 検討			
	4	コンセフ	プト及で	バアイ	デア検討 スケ	ッチ	作成①			アイラ	デア展開が遅れている場合	 、宿題とする。
	5	コンセフ	プト及び	バアイ	 デア検討 スケ	ッチ				アイラ	デア展開が遅れている場合	 、宿題とする。
	6	コンセフ	プト及び	ドアイ	 デア検討 スケ	ッチ				アイラ	デア展開が遅れている場合	 、宿題とする。
	7	コンセフ	プト及び	ドアイ	 デア検討 スケ	ッチ				アイラ	デア展開が遅れている場合	 、宿題とする。
	8	コンセフ	プト及び	バアイ	 デア検討 スケ	ッチ	作成②			アイラ	デア展開が遅れている場合	 、宿題とする。
	9	コンセフ	プト及び	バアイ	 デア検討 スケ	ッチ				アイラ	デア展開が遅れている場合	 、宿題とする。
	10	コンセフ	プト及び	ドアイ	デアスケッチデ	記成技	 是出			作品	が遅れている場合、宿足	 題とする。
	11	コンセフ	プト及で	バアイ	 デアスケッチ۶	記成技	是出			作品	が遅れている場合、宿場	 題とする。
	12	コンセフ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 バアイ	デアスケッチデ	已成技	是出			作品	が遅れている場合、宿見	 題とする。
	13	ヒューマ	アンスク	ケール	にてパッケー	ジレ・	イアウト図作成			作品	が遅れている場合、宿場	 題とする。
	14	ヒューマ	アンスク	ケール	にてパッケー	ジレー	イアウト図作成			作品	が遅れている場合、宿見	 題とする。
	15	ヒューマ	アンスク	ナール	にてパッケー	ジレー	イアウト図作成			作品	が遅れている場合、宿見	 題とする。
	16	ブラッシ	゚ュアッ	プスク	ケッチ完成提出	±٠Ξ	面図作成					
	17	ブラッシ	′ユアッ	プスク	ケッチ完成提出	せ・ 三	面図作成					
	18	ブラッシ	′ユアッ	プスク	ケッチ完成提出	せ・ 三	面図作成					
	19	三面図	作成							三面	図が遅れている場合、役	 宮題とする。
	20	三面図	作成							三面	図が遅れている場合、行	 宮題とする。
	21	三面図	作成							三面	図が遅れている場合、行	 宮題とする。
	22	スケール	モデノ	レ作成	(三面図からモラ	デル展	開図やカッターカ	ゲイド作	成)			
授業計画	23	スケール	モデノ	レ作成	(三面図からモラ	デル展	開図やカッターカ	ゲイド作	成)			
	24	スケール	モデノ	レ作成	(三面図からモラ	デル展	開図やカッターカ	ゲイド作	成)			
	25	スケール	レモデ	····································	 成(発砲ウレタ	ン/塩	ニビ板にて基本	造形(作成)			

	26 スケールモデル作成(発砲ウ	フレタン/塩ビ板	にて基本造形	作成)			
	27 スケールモデル作成(発砲ウ	フレタン/塩ビ板	にて基本造形	作成)			
	28 スケールモデル作成(発砲ウ	フレタン/塩ビ板	にて基本造形	作成)	作成が遅れて	ハる場合、宿題	! とする。
	29 スケールモデル作成(発砲ウ	フレタン/塩ビ板	にて基本造形	作成)	作成が遅れて	ハる場合、宿題	! とする。
	30 スケールモデル作成(発砲ウ	フレタン/塩ビ板	にて基本造形	作成)	作成が遅れて	ハる場合、宿題	! とする。
	31 スケールモデル作成(パテに	よる下地処理	作成)		作成が遅れて	ハる場合、宿題	! とする。
	32 スケールモデル作成(パテに	よる下地処理	作成)		作成が遅れて	ハる場合、宿題	! とする。
	33 スケールモデル作成(パテに	よる下地処理	作成)		作成が遅れて	ハる場合、宿題	iとする。
	34 スケールモデル作成(パテに	よる下地処理	完成)		作成が遅れて	ハる場合、宿題	! とする。
	35 スケールモデル作成(パテに	よる下地処理	完成)		作成が遅れて	ハる場合、宿題	! とする。
	36 スケールモデル作成(パテに	よる下地処理	完成)		作成が遅れて	ハる場合、宿題	とする。
	37 スケールモデル作成(研磨/	表面仕上げ)			作成が遅れて	ハる場合、宿題	iとする。
	38 スケールモデル作成(研磨/	表面仕上げ)			作成が遅れて	いる場合、宿題	iとする。
	39 スケールモデル作成(研磨/	表面仕上げ)			作成が遅れて	ハる場合、宿題	iとする。
	40 スケールモデル作成(研磨/	表面仕上げ)			作成が遅れて	ハる場合、宿題	iとする。
	41 スケールモデル作成(研磨/	表面仕上げ)			作成が遅れて	ハる場合、宿題	iとする。
	42 スケールモデル作成(研磨/	表面仕上げ)			作成が遅れて	ハる場合、宿題	! とする。
	43 作品評価				作成が遅れて	ハる場合、宿題	! とする。
	44 作品評価				作成が遅れて	ハる場合、宿題	! とする。
	45 作品評価				作成が遅れて	ハる場合、宿題	iとする。
	下記の提出作品を総合して、 未提出作品がある場合、もしく					上)で評価する	5 .
		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
	コンセプト/アイデアスケッチ3案		0	0			15%
評価方法	ブラッシュアップスケッチ1案		© ©	0			15% 15%
	パッケージレイアウト図/三面図 スケールモデル作品/完成度		0	0			35%
	取り組み姿勢		0	0			20%
	4X 7/1007 S 53		•				20%
履修上の注意	よいモノ.美しいモノ.魅力的 もち習慣づける事。	な形に目を向	け、人の行動	と道具の関係	系をよく観察し	、それに対し [・]	ての問題意識を

科目名	表現技法 B Expression techniques B													
科目名(英)	Е	xpres	sion ted	chniq	ues B									
単位数		2.	単位		時間	罰数	30時間		担当者		植田	義孝		
実施年度		202	1年度		実施	時期	後期		担当者実務網		デザイン設計 品の企画・デ			
対象学科·学年	5	リエー	イティブ・	デザ	イン学科	プロダクト	デザイン専	攻	2年					
授業概要	ス	くケッ ・	チ表現え	力を高	ある。車	で公共物	など大きな	製品	のスケッチ表		ケール感を	想定した手描きの 意識したパース図		
授業形式	講	義:	Δ	演	習: C) 実習	:	実	支:	※ 主#	こる方法:〇	その他:△		
	言語 情報		運動 態度 意欲	その他		•		l	目標	i				
₩ 20 C +##		0	0		大きな製品	品(車や公共	物)の素材	表現	ができる(メッキ	・表現、ソリッド	カラー表現)			
学習目標 (到達目標)		0	0		素材の組	み合わせ表	現ができる	透明	材との組み合	わせ表現)				
		0	0		手書きの	レンダリング	からPCレン	ダリン	<i>、</i> グへおこすこ	とができる				
テキスト・教材 参考図書	オ	オリジナルテキスト(参考図書:マーカーテクニック) 将業項目・内容 将業外学修指示												
	回数	フレップが宣出山東かん。ナギの山												
	1	輸送機器等のスケッチ演習(野外でのメッキ表現) スケッチが完成出来なかった場合は 宿題として完成させる。												
	2	1日超として元成させる。												
	3	輸送	機器等の	スケ	ッチ演習(スケッチが完成	出来なかった場	合は						
	4 ストリートファニチャー等のスケッチ演習(素材表現) 宿題として完成させる。											i合は		
	5	輸送	機器/ス	トリー	 -トファニチ	ヤーのレン:		作品制作が遅れ		外の時間を使い				
	6	輸送	機器/ス	トリー	-トファニチ	ヤーのレン	ダリング作成	.			れた場合、授業の	外の時間を使い		
	<u> </u>			-		・ヤーのレン・					れた場合、授業祭	外の時間を使い		
授業計画	Ŀ	1837-				ヤーのレン			ш	作業を行う。	完成出来なかっ	た場合は		
									ш	宿題として完成 作品制作が遅れ		へ 外の時間を使い		
	Ľ					ヤーのPCレ				作業を行う。	1.7-場合 授業4	小の時間を使い		
	<u> </u>			-		ヤーのPCレ				作業を行う。		小の時間を使い		
	11	輸送	機器/ス	トリー	-トファニチ	ヤーのPCレ	ンダリング	智		作業を行う。				
	12	輸送	機器/ス	トリー	-トファニチ	ヤーのPCレ	ンダリング	官官		作業を行う。		外の時間を使い		
	13	輸送	機器/ス	トリー	-トファニチ	ヤーのPCレ	ンダリング	官軍		作品制作が遅れ 作業を行う。	れた場合、授業祭	外の時間を使い		
	14	輸送	機器/ス	トリー	-トファニチ	ヤーのPCレ	・ンダリング	官官		作品制作が遅れ 作業を行う。	た場合、授業祭	朴の時間を使い		
	15	輸送	機器/ス	トリー	-トファニチ	ヤーのPCレ	ンダリング	寅習	提出	レンダリングが		た場合は		
	15 輸送機器/ストリートファニチャーのPCレンダリング演習 提出 「宿題として完成させる。 提出作品、授業態度等により総合的に評価する。 (未提出作品がある場合、または出席率が2/3に満たない場合はD評価とする)													
预 <i>压</i> 七:+						言語情報	知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合		
評価方法		手書	きスケッ	チの砧	在認		0		0			20%		
		手書し	ノンダリン	グの	確認		0		0			20%		
	汀	寅習用	イラレデ	一タ 0	D確認		0		0			30%		
	レン	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙	 グイラレ	デー	タの確認		0		0			30%		
履修上の注意	ı		アイデフ ングを§			ッチ表現す	⁻ る為、狂い	がり	〉ないパース	線画を描ける	ように、反復	してスケッチのト		